

卒後臨床研修通信

センター

発行：卒後臨床研修センター

Vol.8

2011年12月発行

宮崎大学診療科説明会開催.....

10月1日(土)に宮崎市内において、専門医養成プログラム連絡会及び卒後臨床研修センター主催による『宮崎大学診療科説明会』を開催しました。

研修医24名(1年次11名、2年次13名)と各診療科等から医局長をはじめ38名、併せて62名の先生方の参加者がありました。

第3回目となった今年度の説明会は、専門医養成プログラム連絡会コーディネータの竹島教授の挨拶で始まり、診療科の紹介があり、先輩医師からの熱いメッセージと激励のことばをいただきました。研修医のみなさんは緊張気味でしたが、歓談が始まるとともに和やかな雰囲気となり、あちらこちらから笑い声も聞こえ、後半は研修医も積極的に診療科の先生方の話に聞き入り、有意義な情報交流と親睦を深めていました。

最後は、卒後臨床研修センターの小松副センター長の挨拶後、参加者全員で記念撮影を行い盛会のうちに終了しました。



研修医の声.....



Voice
1年次研修医
岡田 尚子
(写真一番下)

1年目研修医の岡田です。早いもので、宮崎大学で研修が始まってから、あっという間に半年が過ぎました。この半年間、私は主に大学内の内科で研修させていただきました。他大学出身の私は、初めての場所で研修するということに大きな不安がありました。温かく熱心な先生方や、良い仲間と出会えて、とても有意義な研修医生活を送っています。研修医一人ひとりをサポートする雰囲気があるので、安心して研修できると思いますよ。

2年目研修医の松澤です。2年目研修医の皆さんには進路について悩んでいる時期だと思いますが、今回は研修医の目線から見た産婦人科についてちょっと語りたいと思います。

自分は学生の段階ですでに産婦人科、特に産科にと心に決めていたわけですが、研修を始めると産科の大変さを改めて実感させられました。一歩判断を誤ると生まれてくる子に障害を残してしまう可能性のあるお産もあれば、まったくこちらが手を出さなくともすんなり終わるお産もあります。後者の場合がほとんどなのですが、産科のやりがいを感じる場面はやはり前者だと思います。大変なお産を母子ともに終えられた時の何とも言えない充実感は他の科では味わえないところだと思います。産科での研修はわからないことだらけでへこみ続ける毎日でしたが、母子ともに元気にお産を終えた顔を見ては、元気を取り戻しています。大変な日々ですが、やりがいのある仕事につけたことに日々感謝し、これからも笑顔のために走り続けて行きたいと思います。



Voice
2年次研修医
松澤 聰史
(写真右側)



協力型臨床研修病院・研修協力施設・本院診療科 紹介

協力型 国立病院機構 宮崎病院(川南町)

本院は、政策医療として重症心身障害児(者)に対する入院療育を行うと共に、地域で生活を送りながら発達相談やリハビリなど総合的に援助するB型通園事業も行っています。一般医療については、内科、小児科、整形外科などで専門性を活かした医療を行う一方、二次救急医療施設として24時間体制で救急医療を行っています。また、開放型病院として、地域医療機関との病診(病)連携を強化しながら、地域ニーズに対応できる体制作りに努めています。



協力型 千代田病院(日向市)

本院は、二次救急・災害拠点病院として、地域医療向上に努め、地域に密着している地域中核病院です。また公的医療の役割も担う「社会医療法人」に県内で初めて認定されました。さらに、良質かつ適切な医療を提供できる体制の確保を図っています。平成24年度、施設・医療機器をリニューアルします。経験豊かな指導医と最新の医療機器のもとで、知識・技術の習得することができます。



協力型 南部病院(宮崎市)



本院は、外科、消化器科、肛門科、内科、皮膚科を標榜する病床数73の病院です。

「地域の皆さんに親しまれ信頼される病院」であることを目指し、日々診療につとめています。

協力型病院として外科と内科の1年目の研修を担当しており、研修医1人に指導医1人のマンツーマン体制をとっています。初期研修で求められる外科と内科の基礎的な診療能力を確実に獲得できるよう、病院全体で研修をサポートしてゆきます。一緒に楽しく仕事しましょう。

協力施設 野尻中央病院(小林市)

私どもの病院は宮崎市内より車で40分、小林市医療機関で宮崎市に最も近い病院です。経営者は従兄弟どうしの2代目医師。46年の歴史を守りながら、敢えて田舎らしい、田舎でしかできない病院を創ろうと職員一丸となって日本一元気な「おいたっが田舎病院」へと強制進化中です。また、当院は九州初のISO9001(国際品質保証規格)に認定された医療機関であり、ISO9001を用いて医療の質の向上マネジメントシステムを構築しています。元気なスタッフ、医療の質向上システム、設備管理といった3つの経営資源をいかに有効にマネジメントしていくかをぜひ、体感して下さい。



本院 第一内科



第一内科は循環器(心臓病、高血圧)、消化器、腎臓と幅広い分野を担当している内科です。

我々の使命は、宮崎県下の内科全般を支える根幹たるべき良医を養成することと自覚しています。大学のみならず、充実した関連病院でも幅広く深い研鑽を積めます。

また、研究者の育成にも力を入れ、いくつかの先進的な基礎研究も推進中です。さらに、患者さんを対象とした臨床研究にも邁進しているところです。どうぞ、内科をやりたいと思っている皆様の参加をお待ちしています。

本院 皮膚科

皮膚は総合診療においても最初に目にする「プライマリ臓器」であり、またリンパ腫、メラノーマの腫瘍疾患、水疱症・尋麻疹・膠原病等のアレルギー疾患など様々な内科的、病理組織学的侧面からのアプローチ、かつ熱傷、難治性潰瘍、褥瘡など創傷処置をふくめ、腫瘍切除、植皮などの外科的側面からも様々なトレーニングを要します。臨床研修においては、一生涯何らかの機会で役立つスキルを学ぶことが出来ます。興味とやる気をもって参加して下さい。



研修医マッチング決定！

平成24年度研修開始予定の「臨床研修マッチング」が行われ、歯科医師は10月18日、医師は10月27日に結果が発表されました。



《医師》

自主デザイン研修プログラム 49名
産婦人科 / 周産期研修重点プログラム 1名

《歯科医師》

歯科卒後臨床研修プログラム 8名

海外医療体験研修報告

研修医 石井 信之

今年8月にソンクラ大学の放射線科と家庭医学にて約1ヶ月の研修をしてまいりました。タイの医師免許は持っていないため学生と同様の見学主体です。見学とはいって、日本以外の医療や医師を知ることで、日本の医療水準の高さや英語の重要性、自身の能力不足を痛感しますます仕事・勉強に意欲が湧きました。後輩の皆さんへ。今後数十年間は日本で働くことを考えれば、1ヶ月を海外で見聞を広めてみてはいかがでしょうか。



研修医 尾崎 紗綾

私は8月にタイのプリンス・オブ・ソンクラ大学眼科で海外医療体験研修をさせていただきました。以前宮崎大学に研修に来ていたソンクラ大学の若手医師に刺激を受けて以来、私も海外の病院を見学してみたいと思い研修を志望しました。初めてのタイ、英語の環境、初めて見る海外の眼科、初めてできた海外の友達、すべてに刺激を受けた1ヶ月間でした。この貴重な機会に本当に感謝しています。今後の眼科人生に大きな影響を与えてくれると確信しています。ありがとうございました。



中九州三大学合同専門医養成プログラム

本年度も熊本大学・大分大学・宮崎大学の10の連携診療科では合同カンファレンスやセミナー等が開催されております。随時、卒後臨床研修センターのホームページ等で告知して参りますのでご参加・ご協力のほどお願い致します。

また、臨床的課題の解決法を学び、臨床能力の向上を図ることを目的とした臨床研究能力の開発も本プログラムの柱と位置付けられております。今後、臨床研究に関する勉強会、セミナー等も企画予定であり、随時告知させて頂きます。





行事案内

12月	3日(土)	平成24年度研修ロート等説明会 卒後臨床研修センター忘年会	雪の結晶
	上旬	研修医個別面談(1年次)	
2月	17(土)・18(日)	平成23年度「指導医のための教育ワークショップ」(宮崎市)	雪の結晶
	22(木)	専門医前研修支援コース募集締切	
3月	4日(土)・5日(日)	第105回 歯科医師国家試験	雪の結晶
	11日(土)～13日(月)	第106回 医師国家試験	
4月	18日(土)	中九州三大学病院合同GP「呼吸器内科合同セミナー」	松の木
	上旬	研修管理委員会(修了判定)	
3月	19日(月)	医師・歯科医師国家試験合格発表	松の木
	4月	平成24年度研修医オリエンテーション	

先生紹介



卒後臨床研修センター教員
安倍 弘生 先生



今年4月から卒後臨床研修センター所属となりました。平成11年宮崎医科大学卒業の20期生です。出身は福岡県の久留米市です。消化器病を専門としております。医師に育ってくれた宮崎に少しでも恩返ししたいと思い、宮崎に残りましたが、日暮れて道遠しといった感じです。研修医の先生方の手助けをしつつ、今後も精進したいと思っております。微力ながら先生方のお手伝いができたらと思っております。よろしくお願いします。

編集後記

「卒後臨床研修センター通信」は多くの方々のご協力のもと、8回目の発行を迎えることができ、感謝しております。これからも更に内容の充実したセンター通信を発行して参りたいと思いますので、ご意見・ご要望・ご感想などがございましたら、卒後臨床研修係までご連絡いただきますよう、よろしくお願ひいたします。



宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL: 0985-85-1864 / FAX: 0985-85-3101
E-mail: sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp